

続：衆議院議員に血液型の特徴が見られるか II

— 自民党議員についての分析 —

○藤田主一 大村政男 浮谷秀一
 (日本体育大学) (日本大学) (東京富士大学)
 血液型 O 型 貴族院 吉田茂

Continued : Is there any characteristics of Blood Type distribution among the member of The House of Representatives? II

— An Analysis of The Liberal-Democratic Party Member —

Shuichi Fujita Masao Ohmura Shuuichi Ukiya
 (Nippon Sport Science Univ.) (Nihon Univ.) (Tokyo Fuji Univ.)

Keywords : Blood type O The House of Peers Shigeru Yoshida

1 はしがき 血液型気質相関説と呼ばれた古川学説は大正の末期、東京女子高等師範学校（現在のお茶の水女子大学）の教授古川竹二によって『心理学研究』などに発表された。そして 1932 年、その集大成として『血液型と気質』が三省堂から上梓された。これが我が国における血液型性格学の源泉になっている。能見正比古・俊賢親子の「血液型人間学」は古川学説のスマートなコピーである。われわれは人間個体の気質的特徴の基礎は生物的機構にあると思っている。古川は血液型というよりは体質型としたほうが適切と書いている。われわれはこれと同じスタンスをとっているが、能見親子の血液型人間学のような巫山戯たものとは一線を画していきたいと思っている。

2 能見正比古の「血液型十戒」 能見正比古は 1977 年の『血液型エッセンス』で「血液型十戒」を発表している。その項目だけをここに掲載しておこう。これを読めば能見の構想の可笑しさがよく理解されると思う。

1.血液型で人の性格を決めつけてはいけぬ。2.血液型が性格のすべてであると思てはいけぬ。3.血液型で善悪を分けたり人を非難してはならない。4.血液型で頭の善し悪しをいってはいけぬ。5.血液型で性格はもう変わらないと早合点してはいけぬ。6.血液型は適性適職に対して重要だがそれですべてを決めてはならない。7.成功や業績は人間の努力の結果それを血液型で割り引いてはいけぬ。8.血液型と性格の関係分野を医者や領分と勘違いしてはいけぬ。9.血液型を占いの一種と思てはいけぬ。10.血液型による違いより人間どうし共通性があるかに大きいと思すべきである。

この「十戒」を蹂躪したのは作者本人ではないだろうか。

3 選良とは 「選良」ということばがある。一般の国語辞書を引いてみると、①よい人を選出すること、また、選出された人物 a choice ②代議士 a representative と出ている（『英訳つき国語総合新辞典』(旺文社 1990)）。かなり大きな辞書では「選良」とは、すぐれた人物を選び出すこと、また、その選ばれた人、特に代議士をいう（林大監修『国語大辞典 言泉』小学館 1987）と載っている。このことばがいつ辞書に載ったかはわからないが、手元の辞書にも載っているところを見ると、現代にも生きてることばである。「選良」とは衆議院議員、即代議士のことなのである。

むかしの国会は、衆議院と貴族院とに分かれていた。後者はかつて「大日本帝国憲法（いわゆる明治憲法）」によって制定されたもので、皇族・華族・勅任議員によって構成されていた。現在の参議院とはまったく異なる組織である。前者の衆議院はすべての成年者に選挙権を与える普通選挙の時代になるまでは制限選挙であった。道義的にも優れた「選良」ということばはいつごろから辞書に表われたのであろうか。現代のようにあまりにもスキャンダルがたび重なり「選良」ということばは漸次死語になるかもしれない。

4 自民党の落日 平成 21 年 8 月に実施された第 45 回総選

挙で自民党は大敗北を喫してしまう。その結果を『政官要覧』平成 21 年秋号、平成 21 年 10 月刊に掲載されている資料に拠ってまとめると次の Table 1 に示したとおりになる。

Table 1 第 45 回総選挙における自民党の落日

		A	B	O	AB	合計
当選者	観察数	50	25	28	11	114 χ^2 3.15
	%	43.9	21.9	24.6	9.6	
	期待数	42.5	25.2	36.0	10.3	
落選者	観察数	66	46	49	23	184 χ^2 4.57
	%	35.9	25.0	26.6	12.5	
	期待数	68.6	40.7	58.0	16.7	

Table 1 の 114 名の当選者と 184 名の落選者とを比較してみる。両者とも血液型の分布になんの変哲もない。A 型に目立った比率の差 (8.0%) があるが CR は 1.38 にとどまる。

Table 2 は 114 名の当選者を小選挙区当選者と比例代表区当選者に分けたものである。後者は一般に前者よりも軽く見られるらしい。街頭における激しい舌戦に出陣していないことが多いからである。資料によると、小選挙区当選者 62 名

Table 2 自民党における小選挙区議員と比例代表区議員

		A	B	O	AB	合計
小選挙区当選者	観察数	18	13	23	8	62 χ^2 2.73
	%	29.0	21.0	37.1	12.9	
	期待数	23.1	13.7	19.5	5.7	
比例代表区当選者	観察数	32	12	5	3	52 χ^2 16.73 **
	%	61.5	23.1	9.6	5.8	
	期待数	19.4	11.5	16.4	4.7	

の血液型分布にはなんの変哲もないが、比例代表区にはそれが現われている ($\chi^2=16.73$)。なお A 型と O 型に目立った増減が見られる。すなわち、小選挙区 A 型 (29.0%) < 比例代表区 A 型 (61.5%) : CR=3.49**、小選挙区 O 型 (37.1%) > 比例代表区 O 型 (9.6%) : CR=3.40** となり、有意差が認められる。古川竹二が『血液型と気質』で指摘しているように「A 型は *passive* で O 型は *active* である」ということで済まされるのであろうか。

5 首相 O 型説 93 代目の首相鳩山由紀夫は O 型である。昭和の激動期に軍部の圧力に採みくちやにされた近衛文麿も O 型である。首相になった回数をカウントすると、A 型 17 回、B 型 6 回、O 型 31 回 (吉田茂 5 回・近衛文麿 3 回・池田勇人 3 回・中曾根康弘 3 回など)、AB 型 3 回と首相 O 型説は圧倒的である。古川は「尋常ならざる行為を行ふ勇氣ある人に積極的気質者がより多い事は当然の事であらう」と解説している。

心理学は皮膚から奥には入れない。心理学はここで終点を迎えなければならない科学なのだろうか。